

選挙管理委員会による出前授業

南界・油久小学校

5月29日に、南界小学校で選挙管理委員会による出前授業があり、児童たちが選挙投票を体験しました。

南界小学校6年生4人と油久小学校6年生1人が参加し、選挙の概要や必要性を学び、その後は実際の選挙会場に見立てて、投票を体験しました。

授業を通して、選挙を学んだ児童たちから、「大人になったらきちんと投票したい」という声が上がりました。



高校生が未来の社会を先取り体験

大阪万博と連動したバーチャル授業



5月29日に種子島中央高校でViiage AIとNTT西日本による大阪万博と連動したバーチャル授業がありました。

この授業は、最新技術で未来の社会を体感でき、大阪・関西万博の開催を機にモデル校として鹿児島県で初めて実施されました。

生徒たちは、パソコンやVRゴーグルを使い、仮想空間内で万博の理念や出店コンテンツに触れながら、社会課題や未来技術について理解を深めました。

地域おこし協力隊通信 (No. 101)

「最近感じたこと」 大山 愛

私はラーメンが何よりも大好きなのですが、食べた後必ずニキビや発疹が出ます。

先日、人生初のアレルギー検査をしました。小麦にアレルギー反応が出ないか怯えている日々です。下記の写真は山形で食べたラーメンです。



活動の様子や町の情報をInstagramに掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

地域おこし協力隊とは、国の制度で都市から地方へ生活の拠点を移し、地域で活動を行いながら、任期終了後の定住・定着を図りつつ、地域活性化に繋げる取り組みです。任期は最長3年間です。



TANEGASHIMA.NAHATANE

先日少し長めの休みをいただき、山形県の実家へ帰省しました。父は癌を二度患ったのち脳内出血を経験し、祖父は自営業の仕事に倒れて入院し、そのまま認知症に。久しぶりに会った家族は少し小さくなったように感じられ、胸が締め付けられる思いでした。永遠を願うことはできませんが、せめて元気に楽しく過ごしてほしいと願うばかりです。

そんな中、山形市内のあるラーメン店を訪れました。満席にもかかわらず、店内に響くのはテレビの音と麺をすすする音のみ。客同士の会話はほとんど聞こえず、静かな空間が広がっていました。種子島では、飲食店に笑顔と会話が溢れるのが当たり前。改めて地域ごとの気質や文化の違いを実感しました。

それぞれの土地の風景や空気、何気ない日常の音は、人々の営みとともに息づいているもの。帰省を通じ、そのことを改めて感じました。